

1. 「郡山市 SDGs 未来都市計画」と「メディカルヒルズ郡山基本構想 2.0」

○「健康」をテーマとした持続可能な開発目標を掲げる SDGs 推進のまちづくり

郡山市は 2019 年 7 月 1 日に「SDGs 未来都市」に選定され、同年 8 月に「郡山市 SDGs 未来都市計画」を策定した。



【郡山市 SDGs 未来都市計画】

- ・「健康」をキーワードに先導的取組み
- ・全世代健康都市圏の創造
- ・「知の結節点」として広域圏に拡大

<メディカルヒルズ郡山基本構想 2.0 区域>

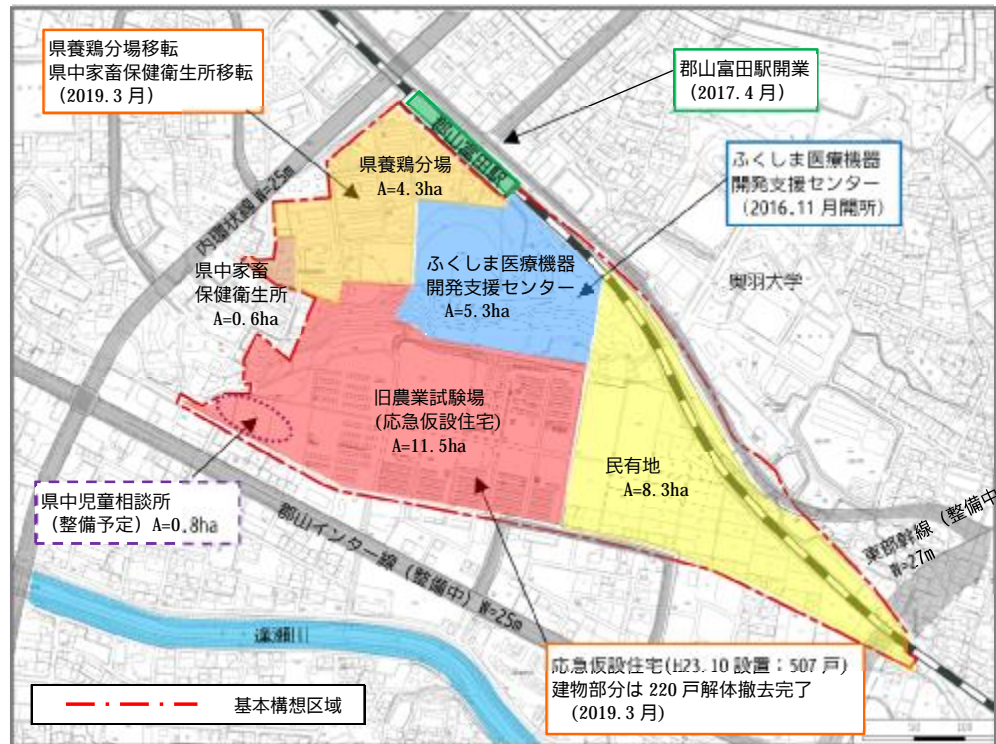


「郡山市 SDGs 未来都市計画」を推進するうえで、「メディカルヒルズ郡山基本構想 2.0」の推進は、国際競争力のある魅力的な産業振興を図り、「知の結節点」として持続可能な成長を目指す本市において、重要な役割を果たす。

【メディカルヒルズ郡山基本構想 2.0】
旧県農業試験場跡地を中心とする市街化調整区域（約 30ha）において、医療機器関連産業分野を中心とする新たな産業の集積拠点の形成を目指す

2. 具体的な機能の考え方<策定主旨>

<基本構想区域の現状（2019 年 9 月）>



<健康に対する国・県の動向>

【日本再興戦略 2016 官民戦略プロジェクト（国）：2016 年】
【成長戦略実行計画（国）2019 年】

【健康立国の実現に向けた宣言（全国知事会）：2018 年】

【第二次健康ふくしま 21 計画（福島県）：2013 年（2019 年改定）】

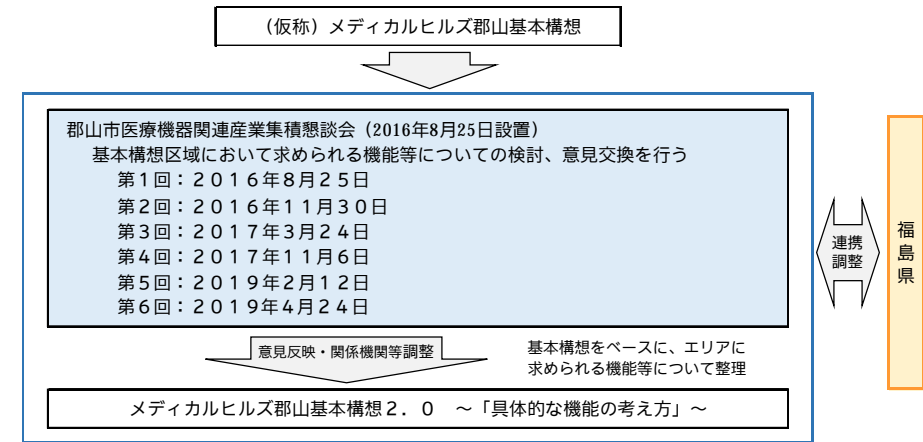
世界最先端の健康立国、全国トップレベルの健康長寿県の実現

健康に対する国・県の動向や区域周辺の立地状況など、当エリアを取りまく環境は変化してきていることから、2016 年 3 月に策定した「(仮称)メディカルヒルズ郡山基本構想」をベースに、「郡山市医療機器関連産業集積懇談会」において出された、当該エリアにおけるまちづくりの方向性や求められる機能についての意見を踏まえ、基本構想に「具体的な機能の考え方」を加えた「メディカルヒルズ郡山基本構想 2.0」として取りまとめた。

今後は、この「基本構想 2.0」をもとに、民間活力の活用も含めた多様な土地利用が可能となるよう、福島県等の関係機関と協議調整を図っていく。

3. 計画区域に求められる機能の整理（郡山市医療機器関連産業集積懇談会）

郡山市医療機器関連産業集積懇談会は、医療機器関連団体、医療関係者、大学、金融機関、福島県、郡山市等が連携し、郡山市において「ふくしま医療機器開発支援センター」を核とした医療機器関連産業の集積を図ることを目的として、2016 年 8 月に設立され、同懇談会において、求められる機能等についての検討、意見交換を行った。



4. 基本構想 2.0 における具体的な機能の考え方

<基本構想 2.0 において求められる機能>

基本構想		求められる機能
まちづくり方針	方向性	○医療関連産業集積機能 医療関連産業について以下の分野とする ┆ 「医療」 ┆ 「ヘルスケア（健康維持、スポーツ、病気の予防）」 ┆ 「介護・医療福祉」 ・医療関連産業の集積 企業、貸オフィス、貸工場 ・研究機関（企業、大学） ・「メディカル」に関する情報発信による国内外とのネットワーク形成
世界に貢献する医療関連産業の集積地の形成	「ふくしま医療機器開発支援センター」の立地を活かし、医療に関連する産業・研究・企業等の集積を図る	△商業・業務機能 ・来訪者や駅利用者向けの商業施設、業務施設 ・来訪者向けの宿泊施設 △緑地・憩い空間機能 ・地区内の自然を活かした、地域住民や就業者等の憩いの空間 △アクセス機能 ・周辺幹線道路とのアクセス
集約型都市構造への転換を踏まえた都市利便施設の立地促進	地区内及び周辺住宅地からの利便性を考慮し、交通結節点となる郡山富田駅前に、商業・業務機能や行政サービス機能の立地を図る	※業務機能 ・コンベンション施設 ※アクセス機能 ・公共交通との接続、利便性向上 ※交流促進機能 ※行政サービス機能 ※防災・減災機能 ・地域・行政・企業等が一体となった災害への対応
持続可能なコミュニティを醸成する地区内外の人々の交流の場の創出	地域住民や就業者等の様々な活動や交流を促進する場の創出を図る	これらの機能については、既存施設・計画との整合等が必要であるため、別途協議調整を行うものとする。
緑豊かな空間の維持・創出	現況の斜面林等をできるだけ残し、地区内の緑豊かな原風景の保全を図る 地区内外からの施設利用者の利便性を考慮し、地区中央部に既存の斜面林と一体となった公園を配置することにより、緑豊かな憩い空間の創出を図る	
鉄道・道路ネットワークの形成による交通利便性の確保	広域アクセス性を考慮し、郡山インター線と郡山富田駅を結びとともに、内環状線とのアクセス強化を図る	

○ ⇒ 備わべき機能
△ ⇒ 備わることが望ましい機能
※ ⇒ 別途協議調整が必要な機能